

平成25年度 第2回益田市子ども・子育て会議議事録

1. 日 時：平成26年2月3日（月）午後2時～
2. 場 所：益田市保健センター3階 大ホール
3. 出席者
（委 員）福井委員、吉村委員、永見委員、植松委員、石橋委員、池田委員、高橋委員、高島会長

（事務局）福祉環境部	村上次長
子育て支援課	廣瀬課長、吉田主任、大島主任 松崎指導主任
子育て支援センター	棕所長
教育部	林部長
学校教育課	渋谷課長
美都総合支所住民福祉課	大谷課長
匹見総合支所住民福祉課	糴田課長

<次第>

- 1 開会
- 2 子育て支援課長挨拶
- 3 委員長挨拶
- 4 議事
 - （1）計画策定に係るニーズ調査について
 - （2）その他
- 6 閉会

～会議概要～

○廣瀬課長 みなさん、こんにちは。ただいまより第2回子育て会議を開催させていただきます。第1回に引き続きまして私が司会をさせていただきます。今日は、委員さん12名のうち、小中学校の代表、坂田校長先生は今、お見えになっておられないので出欠の確認をしております。第1回に引き続き欠席ということで連絡がありました。保育研究会保護者会連合会の徳田様も今回ご都合が悪いということでした。手をつなぐ育成会の大谷様は体調が悪いそうです。第1回目のところの説明しておりませんでした。益田市情報公開条例というのがあります。益田市審議会等の会議の公開等運営に関する規定というのがあります。会議の公開あるいは、会議録の公表について、問題がないということであれば公表、公開をしていくということで会議の冒頭のところでご審議して頂ければと思っております。

○高島会長 皆さんこんにちは。今日はお疲れ様でございます。よろしくお願い致します。先月14日に第1回の会議ではこの全体の枠組みの説明を頂きまして、本来ならば第1回の会議でそれぞれのメンバーから色んな意見を出して頂くような進行をしなければいけなかったところ大変反省しております。委員の皆様には、早々、第2回目の会議を開催することとなり、大変迷惑をおかけします。14日の会議の後、すぐ委員さん6名と事務局とで調査内容について意見を出して頂いて事務局に検討して頂いて修正して頂いた資料がお手元に届いたのと、小学校の部の方が今日配られたのとその資料をもとに今日は会議を進めさせて頂きたいと思っております。大枠は国の決めた調査項目で行うことになろうかと思うが国の新制度をより益田市の実状に合致した計画に近づくことができるようにしていきたいと思っております。アンケートの結果が最大の課題となると思っております。関係者の保護者にいかにアンケートに協力していただけるかが大きな課題となるかと思っております。後は、回収率をあげる方法だとか誰がみてもだれてしまうようなページ数を少しでもへらすことができればいいなあと思っておりますが、前回1回目の時にお話ができましたけれども以前2年前に行った調査項目は取り除くことができればそういうことも考えてみたり、資料の配布の仕方などももう一度協議していただいたり、子育てをめぐる課題の解決を目指す為にも日ごろ子どもさんたちと関わる中で、感じていることや地域で思っていることをどんどん意見出して頂いて、ニーズ調査にむけて有効な計画になるような話し合いができればと思っておりますので、今日はどうぞご忌憚のないご意見を出していただき、会議ができればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

○高島会長 それでは、議題(1)配られた資料でご覧になられたと思っておりますが、感じたこと等ありましたら発表して頂けたらと思っております。

○廣瀬課長 坂田校長先生は、今日ご欠席というご連絡いただきましたので、よろしくお願い致します。

○高島会長 はい。先ほど課長からありました資料の公開について、どうでしょうか。

○廣瀬課長 公表させて頂きたいと思っておりますので、よろしければ会議録も含めて資料も出したいと思っております。それから、会議も公開ということで問題ないと思われまますので、もしよろしければ第3回以降のところでは、事前にこういう状況で会議を開きますということを市民にお伝えして会議に望みたいと思っております。それも含めてよろしければ了解頂ければと思っております。

○永見委員 反対意見があれば言って頂きたい。

○高島会長 では、よろしいということで。

○廣瀬課長 有難うございました。

○高島会長 頂いた資料を見ると最初に頂いた国から出ているものよりコンパクトになったような気がしますが、内容等を見るとこれを頂いたときには、泣いてしまうような思いにさせられますが変えるものがありますでしょうか。

○吉村委員 最初いただいたのと今回のとどこが違うのでしょうか。違いがあれば教えて頂きたいです。

○吉田事務局 就学前児童保護者用は郵送させて頂いてから手直した部分がありますが、割愛させて頂ききます。資料2、3について、これは小学生用です。放課後児童クラブ及び4年生から6年生用の方がたに配布するアンケートということで作成したものです。これにつきましては、国の方のニーズ調査の様式に特に小学生のところについては、設問は変わりますが、内容についての説明がありませんでしたので、ニーズ調査を参考にして2通り作らせて頂きました。内容については、そう変わりはありませんが少し違うところがありますので、それにつきましても説明を省かせて頂きたいと思います。

では、変えたところを説明させていただきたいと思います。資料1の16ページの問24と問25のところですが、問6のところでは学童保育しか入れておりませんので、放課後児童クラブと保育所の学童保育とわけておりませんでした。市内には放課後児童クラブのある地区とない地区があるので分けさせて頂きました。あとは、言葉じり等や設問で番号が違っていたところを直しました。

○永見委員 読み込みが足りないのではトンチンカンなところがあるかもしれませんが、まず頂いた資料1の回答にあたってお読みくださいのところに一人ひとりの子どもが健やかにの箇所では国は全ての子どもがと言っているのではないのでしょうか。全てという言葉はこの間もご提言申し上げました。それから、この計画は子どもの最善の利益とかが前提にないといけないと思うのでこの言葉をどこかにいれて頂く訳にはまいりませんか。次は3ページ封筒の宛名のお子さんにとありますが、幼稚園や保育所は直接渡すというのは決定ですか。このアンケートは直接渡すように決まったと思っておりますが。

○高島会長 全世帯に配布ということなら幼稚園、保育所機関を使うという案が第1回で出たのですが。

○永見委員 もし、そうであるなら幼稚園、保育所には宛名を書いた封筒を持って来て頂きたい。その辺をご配慮頂きたい。

問7で1~8となっているが1~7ですね。その次のページで一番下の、「平均的な帰宅時間」とありますがこれは、仕事を終え、買い物等終えた時間ですか。

○吉田事務局 そのようです。

○永見委員 問12で3から4とあるが、「から」は要らないと思います。

○事務局 はい。

○永見委員 その下、「現在の就労条件をお答えください。」ここは、これでいいのですか。私？と書いているが。後で読み直してチェックして下さい。私の勘違いかもしれません。次にいきます。問12、5から6の「から」は要らない。それから7ページの上、「月単位で定期的に利用している事業」は、もっと解りやすい言葉はないか。説明が長いと読んでいるうちに理解できなくなるのでその辺を考えてみてはどうか。それから問13の1で省くものはないか。家庭的保育というのがありますか。

○吉田事務局 益田市にはありません。居宅訪問型保育4ベビーシッターなのですが。

○永見委員 あきらかにないものは消して、少ないものも消してはその他で書きこみようにするとすっきりするのではないかと思うのですが。それから13-3から13-5でアンケートというものは、調べたい意図があってやるものですが、これは、当市にとって必要な設問なのですか。この前より随分、有り難いことに加えていただいたり、まとめていただいたり大分かわっているので喜びましたが、出来るだけ設問を減らさないとページは2ページしか変わっていなかったと思います。もし省いて差し支えないのなら省かれても、これは益田市独自の設問だったと思います。黒字は益田市独自の質問でしたね。

○事務局 そうです。

○永見委員 14の設問ですが「宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育所等として定期的に」は「宛名のお子さんが平日の幼稚園・保育所等を定期的に」にすべきではないでしょうか。

○廣瀬課長 直させていただきます。

○永見委員 問14-1ですが市内、市外を問うようになっていますがこれも必要ですか。確かに私の幼稚園でも三隅町から来ている子がいらっしゃいますが、益田市においてもこのような設問が必要なのかなと思いました。必要ないのなら除いた方がいいのかなと思いました。それから問15、16、17は1つの枠の中で全部問えるのではないかと思っております。ついでに今申し上げたところ、今日配っていただいた上記以外の要項の説明等の中に加えていただきたいと思うのは、「未就園児の登園」。幼稚園も保育園も両方やっていると思う。これは一時保育とまではいきませんが、そのように幼稚園に行っても、支援センターのように親子で来て過ごすという時間を、両方ともそういう気持ちを持っておりますので、「未就園児の登園日」というのもできればここへ加えてほしい。それから、幼稚園の「預かり保育」というのが下から3番目に書い

てありますが、この中に延長して預かるサービス、これは市内の3園が実施しています。他のところも26園実施しています。市内3園で実施していることも付け加えていただければ。それと同時に「預かり保育」は、土曜日とか長期休暇、夏休みとか春休みとか、そういうときも実際に預かっています。だから長期休暇中も、保育、「預かり保育」こんなのも保育サービスに加えていただければと思います。それから前回この用語説明の中で、1枚めくった2ページにあります。これは差し替えられるわけですか。

○吉田事務局 はい、差し替えます。

○永見委員 ということになると、前は幼稚園が一番頭にありました。それで今回は幼稚園が5番目にありますが、一番上にしていただければ、あと保育園関係がずっと続きますので、前のおりの順番でやってもらえればと、私は幼稚園の立場だからかもしれませんが、そのように感じました。

ずっとしゃべって申し訳ありませんが、もう少し言わせて下さい。新しい方の18です。土曜日、日曜日、これは別に分けて設問してあります。これもその前にしたように、父母というように同じ枠の中に入れて書けるようになっていましたよね。例えば、6ページのところ、前は別々に回答するように別枠になっていましたけれども、今6ページはひとつにまとめて、母親、父親というように改正されました。それと同じように、問18も、土曜、日曜、祝日を同じ枠の中に入れてマルができるようになれば、書きやすくなるのではないかと思います。

前に申し上げたような気がしますが、新しい方の11ページ、19-1の設問です。これは利用したいものにマルをつける設問ですが、何のためにということですが、19-3に休み中の「週に数日利用したい」のところ、何時から何時までとありますが、ここに理由を書くか、あるいは19-1のところに入れていただきたいのは、親の想いとしては、長期の休み中でも幼稚園に入ったりされる狙いのひとつは、幼稚園の集団生活の中における基本的な生活習慣を崩したくない、続けさせたいという想いが強い。だから、括弧やその他でなしに、そういう選択肢を始めから入れておいてもらおうと、マルして答えやすいのではないかと。幼稚園の場合はそれが一番強いのかな。集団生活の中の基本的な生活習慣のためとか文言は別として、そういうのをに入れていただくとマルをしやすいのではないかと思います。

設問20、この一年間に宛名のお子さんが病気で通常の事業が利用できなかったとありますが、これは親の立場だったら、「病気のため園を休ませたことがありますか」とかがしっくりいくかと思いました。通常の事業というとピンとこないのではないかなと思いましたので。それから、第20の真ん中の表ですけど、「問23にお進みください」、この23は太字にしようと思ったり取り易いかなと思います。ぱっと飛べますので。それから、かきくけこの「か」が抜けてますね。下の21、2、1「できれば利用したい」、「利用したいとは思わない」これは、順番を入れ替えていただくわけにはいきませんか。病後児の施設を「利用したい」が頭にくるよりは、「利用しない」の方が親の気持ちとしては楽になりませんか。1、2を入れ替える。それと同じようにその下の20-3ですけれども、色々書いて

ありますが、この辺は、一緒にするのは無理ですか。利用しない場合はどういう施設とかを書いておいてマルをしてもらおうとか。そしたら問が1つ減ります。もう一度申し上げますと、問 20-2 の利用したいの中に、下の 20-3 の色々書いてありますが、それを書いておいてマルをもらうことができれば、設問が1つ減るのではないかと思います。

それから、22-4 利用したいと思わないにマルをつけた方に伺います、その理由に当てはまる番号をとありますけども、これはもう少しスペース取れませんかね。その他の括弧書きがありますから。問われるからにはこういう答えをもらいたいという狙いもありますでしょうから、私が勝手には言えませんが、そのように思いました。

この中の設問 6 のことですが、親が仕事を休んで対応するというよりは、仕事を休んでというのは、ここでは親の気持ちとしては親が自分で見てやりたいという気持ちがありますので、親が見てやりたいので仕事を休んで対応するというような問いかけを設けたらどうでしょうか。それと、こういうものを始めのほうの番号にもってきて、そうでないほうを後ろへ回す。今のようなのを一番にもってこられるほうがいいのではないかと思います。

宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりなどの利用について伺います、これを読んでいくと、泊まりを伴うもの以外も説明してあるのではないですか。だから、「宛名のお子さんの一時預かりや、宿泊を伴う」というふうに聞かれないと、宿泊を伴う一時預かりとなりますと、この次の 22-1 の問は宿泊を伴う一時預かりになります。その辺は、設問の仕方を後でまた読んでみてください。

それから、22-1 の設問が長いのですが、例えば、日中の定期的な保育というよりも、通常保育とか、あるいはその後ろの下に線が引いてある私用・親の通院によりとかいうのはまとめて「親の都合で」とかするともっと文章がすっきりしてくるのではないかと思います。

それからその下の枠組みの中の 1 一時預かり、2 幼稚園の預かり保育、この括弧書きの中に通常の就園時間を「延長して」が必要ですね。

それから、21-1 です。この中にも本当に必要なという問い掛けもありますから、先ほどと同じです。施設に不安があるとか、利便性の問題とか、利用方法の問題とかありますが、この辺なるべく数字を減らして、ある可能性の少ないものは括弧の中に書いてもらうように。

次に行きますが、問 22-7、これも同じです。私用・親の通院というのは「親の都合」という言葉で縮められないかなと思います。

次でございます、23、枠の中にアイウとあります。イの中にショートステイの設問ですが、児童養護施設等で一定期間というのは、これは具体的には児童相談所とかですか？

○廣瀬課長 児童相談所ではない。益田にはないです。隣の浜田市や松江にはありますけども、中にはそういったところを利用されておられる方もいるのではないかと。

○永見委員 あれは短期でも利用できるのですか。

あそこは3才から高校生くらいまでのお子さんが30人くらいいらっしゃいますが、でも短期というのはどうか。この設問はどうかと思ひまして。益田にマッチしている間なのかなと。ちょっとここを整理してほしい。

○廣瀬課長 はい、させていただきます。

○永見委員 それからその中に、しかたなく子どもだけ留守番をさせたというような間は、ずいぶん前、次世代育成のときにもこういう間がありました。こんなことはあり得るのですか。それから、その上のエですが、子どもを仕方なくとありますが、「仕方なく」同行するのですか。この問いかけ自体も、なんか非常に異語があるような問いかけな気がしてしょうがないです。「仕方なく」ではなしに、親だったらふつう、できれば連れて行くのではないですか。見てもらう人がいなかったら。仕方なくじゃなしに、子どものことを考えて連れて行く。この「仕方なく」という問い掛けはは前も気になりましたが、今回も非常に気になります。

それから、23-1ですが、真ん中が「どちらかという」と。普通のアンケートは「ぜひ」と、真ん中にだいたい「どちらとも言えない」くらいが書いてあります。ここは、どちらかという・・・困難と後で書いてある。困難とどちらとも言えないは違いますから、普通の設問とこれも違うと思ひ、何か気になりました。

それから、次のページ、16ページの24、25ですが、これも2つを1つにあわせて先ほど父・母とされたような問いかけができると思ひますので、これも可能であればご区分いただければと思ひます。

同じく次のページの土曜日曜、夏休み冬休みという27の間も、この辺もひとつにまとめられる設問ではないかと思ひます。17ページです。

次、それから同じようなことを申し上げてすみませんが、18ページ28-1の設問です、この1の出始めが、休みが取りにくい雰囲気があったで始まっていますが、下の方に9利用する必要がなかった、10家事に専念するために専念するために退職したというのがあります。普通は9、10を上へ上げて、後を続ける方が、先ほどと同じような傾向のことを言っておりますが、その方がいいと思ひました。

それからまた細かいことを言てすみませんが、今のページの28の間ですが、間の中に、父母のいずれか、若しくは双方が、後に父親母親それぞれについてと書いてありますが、これは下に父親母親書いてありますから、これは除いても十分答えられるのではないかと思ひます。読むところが多いとだんだん嫌になってきますので。

問28の4は父母が分かれています。前例と同じようにひとつの枠にすると見易くなって原稿が少なくなるように思ひます。

同じく28の5も父母分けしないで、さっきのようにひとつにした方が見やすいと思ひます。

同じく次のページの28の6も同じだと思ひます。

それから28の5でございます(2)、希望により復帰した方への設問ですが、希望する保育所に入れなかったとか、体調が思わしくなかったとかありますが、この間にもう少し自分の手で子育てしたかったという気持ちも母親はあると思いますので、こんな選択肢も加えていただけたらと思います。お母さんの願いというのは、必ずそういうこともありますので、その他に書くよりはこの方が良いと思います。

失礼ですが、次世代のアンケートのときに、厚労省から出たアンケートですが、どうして仕事を辞めたかというところに、「自分の手で子どもをしばらく見たかった」というのがなかったのです。それを書いていただいたら、案の定そこにマルをする方が多かったと聞いておりますから、明らかにそういうことが予測される場合は、選択肢を設けておいた方が親切ではないかなと思います。

次に進みます。28の3、これも父母ひとつにしたらと思います。それでここに短時間の勤務制度を利用しましたかの問ですから、1短時間勤務制度を・・・、2短時間勤務制度を・・・とありますが、上にもう説明してあるので、ただ利用した、利用しなかっただけの方がすっきりします。意図は当然分かります。それと、隣のページ28の7、利用したかったが利用しなかったとあるが、これは前の問いかけとちょっとニュアンスが違ってきます。利用できなかったとあるなら、前のところにも括弧書きの利用できなかったを入れるべきです。

その下、28の8、それもさっきと同じように、子育てや家事に専念するために退職したが7です。ですから、7を1にし、6を2にし、8を3にして、1を4にして続けると良いかと思います。28の3、その下は同じく父母をひとつにまとめたらと思います。

それで、ここに設問がありますけども、前も言ったかもしれませんが、教育環境というところの頭にもう一人産み育てたいと思えるようなという文言を入れて、教育、及び環境と続けて。これは皆お子さんをお持ちの方が対象ですので、もう一人ほしいというような言葉を入れたら分かるのではと思います。

それから、「ご意見がございましたら」だと、「ない」となりますので、「ご意見をご自由にご記入ください」としたら良いと思います。それから、31の間です。最後に、括弧とありますが、子育ての理想理念、その後ろに括弧して、どのように育てほしいかご自由にご記入くださいとしたら具体的にイメージがわくのではないかと思います。それから一番下の「ご協力いただきましてありがとうございます」という中に、このアンケートは子育ての役に立つというイメージで、ありがとうございましたと結んだ方が、手間をかけたが、役立たせていただきますよということを入れた方がいいのではないかと思います。

それからもうひとつ、このアンケートに加えていただきたいと思うことは、「益田市が住みよいまちだと思われませんか」さらに、「良いと思われるところ(人・もの・環境)」などお気づきのことをご自由にご記入くださいとしておけば、益田のお母さん方がどういうイメージを持っているのか掴みやすいし、市長さんも子育てに力を入れるひとつの数字に繋がっていく。どれくらいの方が益田市をいいと思ったか、そうでないと思ったかが把握できます。全世帯が対象ですから、そういう問い掛けもこれをチャンスにすれば、結構書いて下さる方があるのではと思います。益田市は過ごしやすいところというのを非常に耳

にしますので、そういう子育ての基本的ベースがありますし、益田市は日本一住みやすい都市にアンケートで選ばれましたし、島根県は美肌日本一ですし、そんなことがあるからいいのではないかと思いました。

長々と申し訳ありませんでした。今私が申し上げたことで、必ずどうこうということではございませんから、ご検討いただけたらと思います。以上です。

○高島会長 ありがとうございます。他の委員さん何かありますでしょうか。

○石橋委員 認可外施設なのですが、その表現の仕方がひっかかるなというところがありまして、これは僕の勝手な思いですが、「児童福祉法に基づく県の認可を受けていない保育施設をいいます」で十分ではないかと思います。認可保育所以外の保育施設をということを書かなくても、これで良いと思います。それに伴って、もちろんこれに書いてあることは全く間違いではないのですが、同じように、「児童福祉法に基づく県の認可を受けた施設」で十分ではないかなと思います。いかがでしょうか。市内には1施設イコールまどころ保育園なので誤解を招くような表現は避けたいなと思う。それと保育所の学童保育のところは小学校1年～3年とありますが、うちは1年～6年までなので書きくわえて頂けたらと思います。

それと、問22へとか飛ぶところがありますよね。ページ数をその下へ括弧で入れられたらどうかと思います。一生懸命探すようになり、なかなかどこにあるのかが分かりにくいので。網掛けでも良いので、分かりやすく真ん中へ持ってくるのか、〇〇へのところはページ数を書くとか分かりやすいのではと思いました。

問28、それまでは〇〇へと書いてありますが、問28に関しては全くこれが書いていないので、どこへというのを書いて頂いた方がいいのではと思います。表現しづらいかもしれませんが、読んでいて感じましたのでお願いいたします。以上で終わります。

○永見委員 色々言いましたけれども、これは集計が大変だと思うんですが、石橋委員さんのご提案で、マークシートではないが1枚の紙に答えて、確かにその方がめくるよりも早いですが、その辺はいかがでしょうか。

○廣瀬課長 過去にも、書く方も見にくいかもしれませんが、集計もこれまでそういった形でやってきましたので、今回につきましてはこれでしたいと思います。

○永見委員 これは専門業者に頼まれるのですか。

○廣瀬課長 いいえ、子育て支援課でやります。

○永見委員 大変ですね。

○高島会長 前よりもまとめていただいているのですが、あまり色々変えると、先ほどのように番号がなくなったりということもあると思いますので、このところはお願ひしたいと思ひます。

私自身が思つたことですが、問合せ先を決めてもらえれば、何かあつたときに問い合わせができるのではないかなど。そういうところは決められてないと思ふので、市の方で問合せ先を決めてもらえればと思ひます。

それと、細かい話になりますが、何日という四角枠がありますが、それをもう少し大きめにさせていただくと書きやすいのではないかなどと思ひます。設問の方で問25、26というのを分かりやすくさせていただくと、後の問25-1というのがつながつた設問ということが分かりやすくなると思ひますので、大きい問のところを少し大きめにするとか、分かりやすく示していただければと思ひます。

今日は資料が主ではありますが、せつかくそれぞれの立場で来ていただいているので、日々子どもたちや保護者さん、地域で思ふことを言つていただくのもこれからの振興に結び付くのかなどと思ひますので、アンケートのことで何もなければ話していけたらと思ひていますが、何かありますでしょうか。

今色々な意見が出ましたが、それを直す必要があるのかというところで、ご意見をいただければと思ひます。確かに見やすさやコンパクトにまとめるというところでは、これから事務局の方でご検討いただき、変えるところは変えていくと思ひますが。

少し気になるのは、質問を減らしていくというよりは括弧が多くなりますよね。その他へというところに書いたらどうですかということが気になったのですが。どうやって書けばいいのかなどか、文章を書くところを端的に済ませたいという方が多いのではと感じたのですが、その辺をまた考慮してもらえたらと思ひます。

それと、「しかたなく」という言葉は、本当にできなかつたからという表現の仕方でもあり、色々な捉え方があります。私は永見委員とは違ふ方向で受け止めました。色々な受け止め方があると思ひますが。

○永見委員 今の括弧書きのことで、益田市の問に必要でないものがあるように思ひました。それで、省いても良いのではないかというような気がしていません。

○福井委員 益田市が行政として、今回、国の子育て支援のアンケート、実態調査をされたうえで、市としてこれからどういった支援ができるのかということをご検討するためのアンケートだと解釈しております。先ほど永見委員が、かなりのご意見、前向きなご意見があり、しっかりご指摘いただきありがたいなと思ひておりますが、予算を確保したり支援を受けるための質問になつてしまつていないか、順番として、こういった答えを一番上にもつていったらいいのではないかなどと思ひますが、そういったことも、意図するところとは逆のことになつてしまうような質問もあるような気がして思ひますので、それが行政として、本当に我々子どもをもつ保護者が答えやすいというか、有り方として、益田市としてこうあつてほしいというのがあれば、永見先生が

おっしゃったとおり前向きな思いを込めた回答が多いと思いますし、行政が考えたことを書いておいてマルをしてもらった方がいいかというのは分かりませんが、意図したことがあるのであれば、これがどうだあれがどうだというところとすごく時間がかかりますので、益田市のご判断で作っていただければ良いと思います。

○廣瀬課長 ありがとうございます。例えば、12ページの病後児保育、病気の際の対応、問20-2ですね。「利用したいとは思わない」を先にしたらどうかということがありました。ここの利用についての問をこのような問い方にする、利用したいという数が多目に出ることが統計上出ているようで、2番を上にするとうなるのかということもあります。ですので、設問の順番を慎重に、変えたら誘導ということになる可能性もありますので、慎重に事務局の方で考えさせていただいて、できればここは1、2でこのままやりたいと思っています。多めに出たり少なめに出たりする可能性がありますので、特に順番については事務局で慎重に対応させていただきたいと思っています。

○永見委員 今おっしゃるように、思いを言うだけで私は特にこだわりません。アンケートは数字が意図できるのですね。だから、数字が大きくなって、その結果子どものためにならないということがこれまで沢山あります。そういうことを危惧して細かいことまで申し上げたのですが、お汲み取りいただければと思います。

○廣瀬課長 最初に言われた施設の順番ですが、前回の第1回目のところでは、国に示された資料には幼稚園が一番頭にありましたので、ここは同じようにさせていただきたい。そうすると流れもいいので。あとは、見やすさについては言われたようにさせていただきます。まとめのところは回答する人によると思いますが、同じ文言が続いたりすることになりますので、まとめられるところはできればまとめたいと思います。その辺は事務局の方にらせていただければと思います。

○高島会長 内閣府から出ているすくすくジャパンという冊子があり、このままのこういった資料で配布されていますが、1枚こういった絵が表にくることと、分かり易く「アンケートをお願いします」ということを載せると、なんとなく開こうかなという気持ちになるかなという思いがあるのですが、いかがでしょうか。少し取りかかりの雰囲気が変わるかなと。優しい感じでページを開いてもらえればいいかなと。中にかわいらしい絵を入れておられるような市もありますので。

○高橋委員 すみません、福井先生の方からご意見があったと思うのですが、「未来の子どもたちのために必ずご記入ください」とか「子どものために」とあると良いかなと。

○永見委員 イラストを入れられるなら、子どもが塗り絵をできるように。イラストさえ入れれば色鉛筆とかクーピーとかで塗りますので。それから先ほど「全ての子どもが」が「ひとりひとり」となっていると言いましたが、このコンセプトが「全ての子どもが健やかに」とかいてありますので、間違いありません。

○廣瀬課長 小学生用の説明をさせていただいてよろしいですか。

○吉田主任 この度の調査で、放課後児童クラブ用に小学生に配る資料を資料2と3ということで2種類用意しております。

9ページまでは全く同じ内容で、就学前の児童さんと同じように各ご家庭の就労状況、休みの対応などがあります。これについては先ほど挙げられたご意見を参考にしたいと思います。1～3年生の放課後児童クラブに通っている生徒さん、通っておられない生徒さん、それから、制度改正で6年生まで利用できるようになりますので、この度のアンケートで、現時点で6年生の方は除いて、4年生と5年生の方について、アンケートを配布させていただきたいと思っております。これについては国の制度がなかったのも、他市の状況をみて、資料2と3を作成しましたが、私どもは2の方が見やすいかなと思いますので、2を各クラブへ配布したいと思っております。内容につきましては、クラブに行っているか行っていないかということが最初にありまして、利用していない理由等を書くようになっております。10、11ページのところがクラブに関する質問事項ということになっております。

資料3については、9ページまでは同じ内容になっていますが、11ページのところに特別支援事業という項目を設けている他市の状況もありましたので、そちらを載せております。ですので、資料3の方には障がい児支援事業について載せている点が大きな違いです。

○石橋委員 今、1～5年生までという配布対象があったのですが、年長さんはどうなりますか。

○吉田主任 年長さんについては資料1の方に、5歳児さんのところにクラブの質問事項がありまして、そこで問うようになっています。

○石橋委員 多分一番困るのは新1年生さん。新1年生は不安になると思うので、より意見が書きやすいかなと思います。

○永見委員 未就学児童の方のアンケートの16ページ、児童クラブの説明で、「学童保育」などと呼ばれていますとありますよね。これを少し太字にした方がいいと思います。学童保育は皆さん馴染みがありますが、放課後児童クラブと同じものだと思わないような感じがします。全体の説明の児童クラブのところに、「学童保育」と言われていますなどを入れた方がいいと思います。

先ほど 24 と 25 がひとつの枠になると言いましたが、低学年と高学年の欄をつくって書き込むようにすればひとつになると思います。

それと細かいことを言ってすみませんが、今のページの 5 歳児以上の方について、小学校就学後というのは小学校に行ってからということですね。ですが、小学校の放課後の過ごし方についてとえば、当然理解されると思います。就学後と言うと分かりにくいと思います。24 の中で、放課後の時間でとえば分るのではないのでしょうか。文章を少なくした方が分かりやすいと思ひまして、あえて申し上げました。

○福井委員 誤字や脱字については当然のことですが、あとは読みやすくしていただければいいと思います。宛名のお子さんとするのかという方向性を出していただければと思います。設問の項目自体をなくした方がいいということですが、それについては皆さんのご意見を言っていただければいいなと思います。

認可保育所、認可外施設の説明についても、どのようにするのかご意向を聞いておきたいと思ひます。

細かいことですが、「宛名」というのをを使う場合、漢字だったり平仮名だったりしていますので、どちらかに統一すればいいと思ひます。

○吉田主任 国の設問の中にどなたの回答かということで、封筒に宛名を貼って送ろうと思ひます。回収の封筒の方は無記名で回収したいと思ひます。放課後クラブにつきましても同じように宛名を付けて、各クラブで配っていただこうと思ひますし、家庭内保育をされておられる方と小学 1~3 年生のクラブに入っておられない方、4~5 年生の方については郵送になります。ですので、完全に宛名を付けるということになると思ひます。

○永見委員 提出締切日は大きく分かり易くしてもらわねけですが、締切日はいつ頃になりそうですか。スケジュールで言えねば 2 月末になりまねけか。

○廣瀬課長 はい、スケジュールでは 2 月下旬ということにしたのですが、かなり厳しいと思ひています。今日出たご意見と、項目を消すというところはこちらの方で審議をして、基本は国の調査票のイメージを基に、そうでないところは益田市として把握したいという思ひで書いています。事務局としてはできるだけこのままで行きたいと思ひています。追加しなくてはいけないところはあったので、設問の中に入れます。

○永見委員 8 ページの設問は果たして必要なのか、事務局がどういふ意図で、どういふ価値があるのかというところを知りたいです。

○廣瀬課長 今の問 13-3 ですが、ここは広域入所の保育所の例がありますけども、広域入所のご家庭のおさんは多くなく、仕事の関係や勤務地の状況がありこれは国のイメージですが、益田市でも把握したいという思ひがあります。

○永見委員 「益田市内」と直していただいて前より分かりやすくなりました。是非調べたいとおっしゃるのなら我々もそうしたいです。

○廣瀬課長 10 ページの間 19-1、ここは4と5の間に、例えば生活習慣を崩したくない、保つためという設問を付け加えるかということですが、そこをどうするかというところは大きな問題だと思います。生活習慣を崩したくない、保ちたいというのは逆に言うと少数の意見ではないかと思しますので、その他のところで良いと私は簡単に思ったのですが、永見委員の意見で皆さん方がここをどう思われるかなと思いました。

○高島会長 1~4 までの間が親側の意見、生活習慣は子ども側なので、そのところの親の切り替えというのがあるのかなと思います。

○永見委員 そもそも幼稚園においては長期の休み中も日によって違いますが、70~80%が出てきます。ということは、親御さんの都合はもちろんあると思いますが、基本的に教育的なねらいや願いがあって、何十日も家へいたのでは朝寝や夜更かしをするしという思いもあって出しておられる親御さんが多いかなと思います。保育園の場合はそういうことがほとんどなくて、対象にならないと思います。

○福井委員 そういうご意見も多いと思います。それを入れることによって問題が生じることはないと思います。

○廣瀬課長 飛ぶかもしれませんが、20 ページ、職場復帰の設問で、「もう少し自分の手で子育てしたかった」という選択肢を入れるというところは、これはよろしいですか。

○永見委員 その選択肢もあった方がいいと思います。実際、益田にそのような職場がどれだけあるかというところですが。

○廣瀬課長 今市内にもこっころカンパニーの登録が14社、そこでは仕事を短時間で帰られるとか色々な仕組みを作られて登録されていますので、益田市にも特定事業主行動計画というのがあり、それは人事課の方が計画を作っています。

○永見委員 3年も休んで復帰できるのかという猛反発もあったりして、難しいところですね。

○高橋委員 子育て支援と男女共同参画というのは整合性が取れていない部分があって、なんとなく矛盾した部分があると思うのですがどうでしょうか。これはあくまでも実態調査であるということで解釈していますが、その辺は難しいなと思います。

○石橋委員 親の子育てを支援するのか、子どもの幸せを支援するのか、これは相反するものだと現場で感じています。今教育サービスが多様化していますが、それは果たして子どもにとって幸せなことなのかここ数年すごく感じるようになって、親が親であることを忘れる保育をどんどん推奨しているのではないかと、それが親にとって本当にいいことなのかなと思います。私がこの会議に出たひとつは、益田市として新たな方向性を出せたらいいのではという思いもありました。よそがやるからうちもやる、親から要望が出たからやりましょうという結果がこの状況を招いているので、話していくべきではないかなと思います。

○永見委員 子どもの最善の利益を考えないと、親との距離をどんどん離れていきます。

○廣瀬課長 子ども子育て新制度ですが、去年の7月に基本指針が出まして、親には責任があるということがありました。第1回目の会議でもお伝えしましたが、3月に第3回目の子ども子育て会議を開催する予定ですが、そのときにこの目的である市町村事業計画の骨子を示せるというお話をさせていただきましたので、委員さん方のお話を聞きながらまとめさせていただければと思っています。

○永見委員 教育委員会の学校教育の方もしっかり関わっていただいて、より良い方向に行くようにしたいです。

○高島会長 細かい一語一句のところは事務局にお任せをして、検討していただき、資料の配布など急がないといけないと思うので、そういうことでよろしいでしょうか。

○廣瀬課長 みなさま方には確認をしていただいて、配布していきたいと思います。

○高島会長 確認のみで、直すとなると印刷に時間がかかったりしてもう時間が取れないので。あと一番気になったのが配布の仕方なのですが、家庭で保育されている方についてどのように配布するのか。郵送もありだと思いますが、自治会長さんを通して民生委員さんに配布をしていただいたりできれば、身近な人から手渡してもらって書いてねと言われると、すごく書きやすいのではないかなと感じます。それが事務局の方で手間でなければ、それがいいと思います。

○廣瀬課長 自治会長さん、民生委員さんには日頃より色々とお願ひもしているところであるので新たなお願いとなるとなかなか言いにくいところがある。時間的なものもあります。

○永見委員 今までどおりやるとおっしゃいましたが、大丈夫ですか。1枚になっていけば見やすいのでしょうか。

○高島会長 書く側にしたら中に入れない方が逆に書きやすいのではないのでしょうか。字を書くことは、なかなか苦手なので、枠を多くとると圧迫感がある。

○廣瀬課長 確かに他の市町村を見るとそういった設問も全くないわけではなく、あるところもある。

○高島会長 設問の柔らかさなどで、ここでは書けなかったけれどもここでは書けたといったところもあるのではないか。

○石橋委員 最後のところの支援に対する満足度を一番目言われる。そのあとで書きたい人は、書く。そのくらいだったら、書く側も負担にならないし、親としての満足度、子としての満足度も分かるのではないのでしょうか。

○高島会長 よろしいでしょうか。他に何かありますでしょうか。

○永見委員 丸投げをした中で、色々検討して頂いて有難うございました。お礼申し上げます。

○高島会長 入力の方、大変だと思いますがよろしくお願い致します。では、表紙に関しては、どうでしょうか。事務局にお任せしてもよろしいでしょうか。資料につきましては、この形で、他に言い残されたことはないでしょうか。

○福井委員 会長さんには会が始まる前にもお話ししたのですが、この調査の目的のところでは量の見込を算出する。調べるのは非常に大切なことですし、大きな目的の一つなのですが、もっと質の向上や子育て支援に拠出することの目的の中にあるのですし、目的の大切な部分を盛り込んだ探りをして下さればと少し感じたところです。

○高島会長 予定時間を過ぎましたけれども、今から資料が帰って来てからたくさん意見をお聞かせ頂くことになるのではないかなと思います。今日は、議題として子育て支援のニーズ調査についての内容についてでしたので、一応、議題は修了させていただきます。その他のところは、事務局のほうから話をして頂けたらと思います。

○廣瀬課長 集計報告は100パーセントの報告ができるかどうかは事務局として少し不安を感じています。3月の下旬のところでのその時の状況報告はしていきたいと思います。スケジュールについては少しずつれ込みますが、出来るだけ2月の中旬あたりには皆様にお示しして、確認して頂いて、当然発送までには各

団体さんと細かい打ち合わせをさせていただかないと手渡すことは出来ない。完成は4月下旬にずれ込むということは可能性としてあるということを委員さん方にもお伝え願いたいと思います。

○高島会長 熱い意見を出して頂いて、大変だったと思いますので、私たちも4月にずれ込むことは思っておりましたし、他の業務もあるでしょう。

○永見委員 本番になる来年度の日程は、どのように考えておられますか。

○廣瀬会長 会議の回数は5回を予定しております。

○高島会長 3日連続で保育の質向上のための特別講座の初日の半日を参加しました。分からない部分がいっぱいありましたが、この資料を見るのと見ないのでは全然違うので、この資料を私の気持ちとして入れさせて頂きました。

今日は長い時間、貴重な意見を頂きまして有難うございました。またよろしくお願ひ致します。